

| | | |
|-------------|--------------|-----------------------|
| 交渉情報 | NO.11 | 日本郵便(株)信越支社 経営管理本部 |
| JP労組信越地方本部 | 2021年8月4日 | 添付資料:3枚 |

「千ヶ滝郵便局の再配置に関する具体的要員措置計画」 に対する地方交渉の整理について

【関連】信越交渉情報 NO.126 (2021.6.15) 信越地本 第113号 (2021.6.30)

J P 労組信越地方本部は、6月30日(水)に「千ヶ滝郵便局の再配置に関する具体的要員措置計画」の提示に対する意見表明を日本郵便(株)信越支社に提出し、以降地方交渉を重ねてきました。

本日8月4日(水)、別紙をもって地方整理をはかりましたので周知します。

最終整理にあたり、信越支社宮澤経営管理副本部長から、「千ヶ滝郵便局の再配置に関する具体的要員措置計画について、6月15日(火)に提示し、J P 労組信越地方本部から6月30日(水)に意見表明をいただき、本日までの間、窓口で精力的に交渉を行い、本日、大綱整理の運びとなった。感謝申し上げます。

千ヶ滝郵便局の再配置については、検討の結果、御代田町草越周辺地域に郵便局を再配置することとなった。

再配置元の千ヶ滝郵便局は、局舎の耐震性能が不足しており移転する必要があるが、周囲の世帯数も少なく過疎化が進んでいるため、その地域における直営郵便局としての営業継続は、経営的観点からも困難な状況にある。

他方、御代田町草越地域は、北陸新幹線佐久平駅から約7キロの場所に位置し、周辺に大規模工場があり、また、隣の軽井沢町にて観光業に従事する町民が多く住んでいる地域である。昨今、各地で人口減少が言われる中で、数少ない町内人口が増加している地域である。そのため、一定の郵便局利用が見込まれ、再配置場所として有効な地域だと判断した。

今後、支社から業務引継に関する指示文書を発出し、自治体やお客さま対応を行っていく予定としており、また業務の引継ぎについては、今月以降、本格的に進めていく。具体的なスケジュールを立て、1つ1つ確実に準備を進めていくためには、まずは社員への理解・浸透が重要。そのため、きちんとした社員周知を図るよう、支社からも指導、支援していく。

いずれにしても円滑な実施のためには、組合員の皆さまの協力が必要不可欠。労使一体となって一致協力し、取り組んでいきたい。引き続きの協力をお願いする。」との決意が示されました。

地方本部を代表して花見副執行委員長から、「郵便局の再配置は、社員の安全確保と郵便ネットワークを維持する観点から実施されるものであると認識している。特に御代田町は、若い世代を中心に人口が増加傾向にある地域であり、地域全体の利便性の向上と損益改善の両立に大きな期待が寄せられるものと受け止めている。

要求回答のとおり、お客さま周知はもとより、関係社員への対応についても丁寧に実施するとともに、その経過について随時情報共有を願いたい。なお、施策実施効果が想定どおり発揮されたかを検証することは必要不可欠であるため、併せて取り運んでいただきたい。」との考え方を示しました。

次頁以降に要求内容（下線部）と支社回答のポイントを記します。全体の要求・回答については、【別紙】を参照願います。

今後は以下のスケジュールで支部段階に移行しますが、地方本部においても、要員協議の扱いについて支社対応を行っていくこととします。

記

1. 労使対応

支部労使委員会窓口（佐久支部）

2021年8月19日（木）以降、9月17日（金）までの間で実施。

2. 社員周知

9月17日（金）までに実施。

3. その他

労使対応については、社員周知と同時並行で実施することを「可」としました。

以 上

「千ヶ滝郵便局の再配置に関する具体的要員措置計画」の意見表明 に対する回答（ポイント）

【総論】

- 1、千ヶ滝郵便局を廃止し、(仮称)御代田雪窓郵便局を設置するに至った根拠を示すこと。
また、その効果を明らかにするよう、求めたことに対し支社は、

千ヶ滝郵便局は、局舎の耐震性能が不足しており建替えが必要な状況であるため、検討の結果、佐久平駅から約7 kmの場所に位置し、人口増加により更なる発展が見込まれる御代田町草越地域での建替えが有効と判断した。

なお、御代田町には、御代田郵便局と小田井簡易郵便局の2局が設置されているが、御代田郵便局では、郵便窓口およびATM利用のお客さまが増加しており、お客さまの需要を十分取り込めていない可能性が懸念される。よって、千ヶ滝郵便局を廃止し、(仮称)御代田雪窓郵便局を設置することで、御代田町草越地域全体の利便性の向上および収益改善をはかるとしています。

【業務】

- 2、9月30日(木)最終営業日後の千ヶ滝郵便局における業務について明らかにすること。
また、近隣住民への周知について具体的方策を示すよう、求めたことに対し支社は、

千ヶ滝郵便局閉局後の事務については、中軽井沢郵便局への引き継ぎを予定している。なお、引継事項等については、確定次第速やかに説明を行うこととしたい。

また、千ヶ滝郵便局の廃止に伴うお客さま等への周知については、支社において「郵便局閉局のお知らせ」を作成の上、千ヶ滝郵便局に掲示するとともに、区長から要望があった場合は、回覧板等による周知を予定している。としています。

- 3、千ヶ滝郵便局および(仮称)御代田雪窓郵便局の各種目標のあり方について明らかにするよう、求めたことに対し支社は、

千ヶ滝郵便局の2021年度における営業目標のうち、郵便・物流営業は、2021年10月～2022年3月までの6ヶ月分を既に減算している。なお、廃止に伴い異動となる社員の異動先郵便局の目標改定は対象外とする。金融営業では、「かんぽお客さま対応実施率」についてのみ基準が示されており、2021年10月～2022年3月までの6ヶ月分を減算し、部会目標からも減算を予定している。その他の商品については、現在本社において検討中のため、確定次第改めて説明を行うこととしたい。

(仮称)御代田雪窓郵便局の営業目標については、確定次第改めて説明を行うこととする。としています。

- 4、(仮称)御代田雪窓郵便局開局に伴う移行準備計画について、早期に示すよう、求めたことに対し支社は、
準備でき次第、改めて説明を行うこととしたい。としています。

【要員】

- 5、(仮称)御代田雪窓郵便局における正社員の配置計画について明らかにするとともに、開局後における業務運行等を十分注視し、必要な要員措置をはかるよう、求めたことに対し支社は、

(仮称)御代田雪窓郵便局における正社員の配置計画については、近隣の御代田郵便局などの一部のお客さまの利用を見込んでおり、来客者数等も勘案して正社員を2名配置することとした。

なお、この間の地本からの指摘等を踏まえ、開局後の業務運行等を十分注視し、労働力が不足することがないよう部会内調整により対応していく。としています。

- 6、(仮称)御代田雪窓郵便局設置に伴い、近隣局に与える影響について、支社の分析を明らかにするよう、求めたことに対し支社は、

御代田郵便局の郵便窓口では、2019年度約1,350件、ATMでは約2,100件(ともに2018年度比)の取扱件数が増加している。(仮称)御代田雪窓郵便局の設置により、御代田郵便局を利用している一部のお客さまが(仮称)御代田雪窓郵便局をご利用いただくことを見込こんでいる。また、それによる部会内の要員バランスについては、(仮称)御代田雪窓郵便局開局後における一定期間の業務量および来局者数を把握するとともに、御代田郵便局の業務量等の変化を把握した上で、各局の要員計画が適正なものとなるよう、必要に応じ見直しをはかることとする。としています。

- 7、本施策の要員措置計画について、対象社員に丁寧の説明し、理解・浸透をはかるよう、求めたことに対し支社は、

本施策の実施にあたっては、社員の理解と協力が必要不可欠であると認識している。そのため、対象社員に対しては、要員措置計画や移行スケジュール等について、社員周知用資料等を手交の上、社員に疑義や不安が生じないよう時間をかけて説明していく。としています。

【その他】

- 8、10月1日(金)以降の千ヶ滝郵便局の社員の所属について、本人の希望を充足すること。また、人事評価については、年度途中での郵便局の廃止となることから、社員に不利益のない評価方法とするとともに、丁寧な説明を行うよう、求めたことに対し支社は、

10月1日以降の千ヶ滝郵便局社員の所属については、本人の希望を聴取した上で、新局における業務運行が確保されるよう配置していく。

また、人事評価については、9月までの評価を配属先の局長に引き継ぐことと

しており、フィードバック時に、本施策への理解・協力への感謝とともに、人事評価に不利益を及ぼすものではない旨、説明を行うよう管理者に対し指導していく。としています。

9、開局セレモニーは、新型コロナウイルス感染拡大状況を十分考慮した上で対応するよう、求めたことに対し支社は、

開局セレモニーの実施にあたっては、日本郵便における「新型コロナウイルス感染症対策基本的対応方針」と自治体の警戒レベルを基に、開催の可否を判断する。なお、実施する場合には、開局準備者に対し、手指アルコールやマスク着用の徹底等、感染拡大防止策を講じた上で開催するよう指導を徹底していく。としています。